

## テーマ2

業績不振からの回復として、リストラクチャリングによる人員整理をすることの企業におけるメリットとデメリットを考え、将来の企業成長を照らした場合、当該手法についての以下の立場に分かれて議論しなさい。

A案：メリットが大きいため賛成

### <前提>

リストラクチャリング(restructuring)とは、経営の効率化や生産性向上を目指して、企業の改革や事業構造の再構築に取り組むことを指す。具体的には、不採算事業の撤退や縮小を行い、主力事業に経営資源を集中させるなど「選択と集中」を行う。そのプロセスの一環として「リストラ(人員整理)」が行われる場合もある。会社の固定費の多くを占める人件費は、リストラクチャリングの最優先事項の一つといえる。

### <リストラクチャリングによる人員整理のメリット・デメリット>

#### ①メリット

- ・人件費削減により企業全体の利益率が改善する
- ・ポジションの整理に伴って業務および経営が効率化される
- ・人員の質が向上する

#### ②デメリット

- ・従業員にとって不安定な状況を生み出し、モチベーションが低下する
- ・人員整理の規模や対象人員の見極めに難しい判断が要求される

### <まとめ：リストラクチャリングによる人員整理に賛成する理由>

雇用を守ることは、従業員がモチベーションとパフォーマンスを維持する上で重要な要素となる。ただし、雇用の前提には企業の存続があり、業績不振に陥っている会社が苦しい状況を脱するためには厳しい判断を迫られることも有り得る。

人員整理により会社の固定費の多くを占める人件費を削減することができれば、利益率の改善に対して確実なインパクトがもたらされる。また、業務の効率化や人員の質向上は長期的な企業成長の足掛かりとなり、これにより優れた人材の雇用が守られる。

従業員に対する十分な説明を行い、人員計画についてできる限りのシミュレーションをしたうえで、急場を乗り切り事業を再構築するための最善の手法として人員整理が行われることに賛成する。

### <参考 URL>日本 M&A センター「M&A マガジン」

[https://www.nihon-ma.co.jp/columns/2023/x20231117/\(2024/6/24 閲覧\)](https://www.nihon-ma.co.jp/columns/2023/x20231117/(2024/6/24 閲覧))